

北海道東川養護学校

中学部 宿泊研修

令和元年7月4日（木）～5日（金）の1泊2日で、中学部2年生11名で富良野・砂川・深川で宿泊研修を実施しました。

1日目は、旭川駅から富良野駅までノロッコ号に乗車しました。窓が大きく開いた車内で自然を感じ、時には沿線の地域の方々から手を振られて、暖かい気持ちで富良野市まで行くことができました。

昼食は、富良野市内ホテルのレストランでカレーライスをいただきました。ちょっと大人の味付けのカレーライスに少し戸惑う生徒もいましたが、素敵な眺望のレストランでの食事は大変良い経験になりました。



午後の活動は富良野市内を流れる、空知川でのラフティングでした。初めて見る、ライフジャケット・ヘルメット・ウェットブーツに少し苦戦する生徒もいましたが、大きなボートの上から綺麗な景色を眺め、時折訪れる流れの速いエリアではドキドキスリルを味わい、あっという間の1時間でした。

夕方は砂川ハイウェイオアシスへ移動し、夕食と買い物をしました。それぞれ、事前に選択したメニューを食べてラフティングの疲れが回復しました。

宿泊は深川市内のコテージにて。ゆっくり眠れた人、あまり眠れなかった人とそれぞれいたようです。

2日目は、宿泊施設での体験プログラムでパンづくり。材料の計量から焼き上げまで、本格的なパンを作りました。できあがったパンはお土産として自宅に持ち帰りました。

帰りは再び JR で深川駅から旭川駅へ。さすがに疲れの色も見え、車内では眠りにつく生徒も数名いました。旭川駅へ着くと保護者の皆さんのお迎えがあり、ホッとした様子の生徒がたくさんいました。

来年実施される予定の見学旅行へ向けて、良い研修になりました。

